

光子の部屋

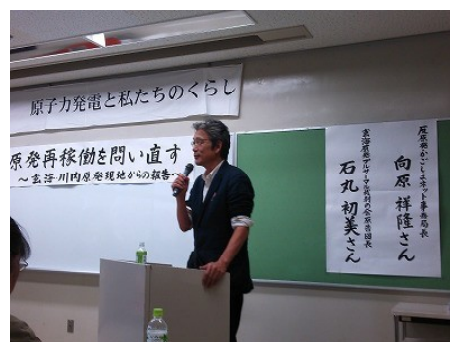
2013 冬号



原発問題連続講座「原発再稼働を問い直す」10月19日

玄海原発と川内原発で起こっていることについて、佐賀の石丸初美さん（玄海原発プルサーマルと全機をみんなで止める裁判の会原告団長）と鹿児島の向原祥隆さん（反原発.かごしまネット事務局長）の現地からの報告を聞きました。情報がいかに伝えられていないか改めて再認識しました。福島原発事故以来、日本の原子力緊急事態宣言はまだ継続中であること、川内原発に近い寄田海岸に打ち上げられているたくさんの海ガメやサメの死骸…まだまだ驚きの話をいっぱい聞きました。原発の周囲で起こっていること、きちんと情報を伝えず再稼働へ???

未来への大罪に思えます。



「ひきこもりの現状と課題」研修会 10月20日



私達の市議団で主催した引きこもり研修会、福岡からきていただいた講師、楠の会（ひきこもり親の会）の吉村さん、大住さんのお話し、現状や具体的な事例、制度や仕組みなど、分かりやすく大変好評でした。本人の苦しさへの共感と、様々な領域が関わる支援体制が大切だと話されました。親の立場や支援施設関係者、教員、市の職員など様々な方が会場いっぱいに参加いただき、「理解が深まった」「支援の仕組み必要では・・・」といった感想を多数いただきました。これから大牟田の支援の仕組みをどう充実していくか、行政にも働きかけていきたいと思えます。

母と女性教職員の会 市長と教育長に陳情 11月11日

母と女教師の会では、毎年、予算編成のこの時期に子どもたちの育つ環境の充実を陳情しています。古賀市長には、教育予算増と学童の充実を、宮田教育長には、学校への人的配置増や施設設備の充実と35人以下学級の早期実現を、2000筆以上の署名を添えて陳情しました。

陳情後の意見交換の中で、「近年の猛暑で勉強どころではないと子どもが言う。教室へのエアコン設置を」という声がお母さんからありましたが、古賀市長からは、「昔も暑かった、我慢も大切」とのコメントがあり一同唖然としました。教室は38度にもなり、今年は数名の生徒が救急搬送された学校もあります。学童設置もそうでしたが、繰り返しの要望で前進しました。議会とも連携し、粘り強く取り組んでいきます。



12月議会で代表質問

13日（金）午後1時10分からの予定です。

今回は、子ども・若者への支援の仕組みづくりや不登校の問題、次期総合計画の策定に向けた環境、新エネルギー、人権推進のまちづくりの提言等を行いたいと考えています。

傍聴、あるいはインターネットでの視聴もできます。よろしくお願いいたします。